

消防力適正配置について寄せられた意見と本市の考え

1 意見募集期間

平成31年3月15日(金)から令和元年5月15日(水)まで

2 意見提出者および意見数

提出者： 4名、意見数： 4件

3 寄せられた意見および本市の考え

No.	意見要旨	市の考え方・対応
1	10年後、20年後を見据えた、素晴らしい報告書であり、今後の市民の安全、安心のために活かしてもらいたい。	今後、消防力の適正配置や整備方策など、効果的、効率的な消防体制を確立し、消防サービスの向上を図ってまいります。
2	城東消防署の普通ポンプ車と救助工作車をポンプ付救助工作車への更新してもらいたい。	車両更新時に保有車両の状況をみて参考にさせていただきます。
3	<p>【署所・車両配置適正化】 署所移転・統合にあっては、当該地域住民への説明会等、十分に理解を得た段階で実施してほしい。数年前の保戸野出張所の秋田消防署統合では住民の反発が少なくなかったと記憶している。</p> <p>車両と人員は現状を維持してほしい。やむを得ず減車とする場合は、複合型消防車両（ポンプ付き救助工作車・梯子付き消防ポンプ自動車）の導入で減車分の救助活動等を補完できる体制を執ってほしい。</p> <p>冬期間降雪時の道路事情が調査報告書では考慮されていないので、地域特性も加味してほしい。</p>	<p>署所移転や統合については、地域住民への説明を十分行い、理解をいただきながら進めてまいります。</p> <p>車両や人員については、現状の維持を基本的なスタンスとし、救助体制についても、現在の体制からの後退がないようにいたします。</p> <p>冬期間の道路事情については、地域の特性などを考慮してまいります。</p>
4	<p>【将軍野出張所について】 北部地域のほとんどの地区において最先着であるため、統合せずに今の場所に改築し、救急車を配置すべきである。</p> <p>【寺内出張所について】 最先着できる地区は多くないが、最先着可能な地区もある。秋田消防署管内の補完、文教施設、向浜工業地区を考慮すると、今の場所が適地であり、将軍野出張所との統合には反対である。そして、今の敷地に建築できないことを考慮すると、向かい側にある寺内コミセンとの併設を提案する。</p>	<p>将軍野出張所および寺内出張所については、両庁舎の改築に際し、地域状況や道路事情および人口動態など、将来的な社会情勢と合わせ、高齢化に伴う救急件数の増加等、総合的な消防需要を考慮し、再編成なども含め検討してまいります。</p>

<p>4</p>	<p>【城東消防署・広面出張所について】 秋田駅周辺は持続的に開発行為が行われている。秋田駅周辺、秋田駅西側中央街区、駅東地区を考慮すると、城東消防署については、秋田駅東が適地であり、敷地が手狭であれば救急隊を分離させること。また、広面出張所においても、今の場所が適地と考える。</p> <p>【救急について】 秋田駅西口に救急専用出張所新設し、城東救急の配置を要望します。</p> <p>【予防について】 本署であれば予防担当が設けられています。多くの防火対象物を抱える中央街区に近いというのは査察・指導の観点からも大変有効ではないかと思われま。</p>	<p>城東消防署については、庁舎建替え時期に、車両資機材の収納スペースの確保、教育・訓練施設による消防職団員の災害対応能力向上のために十分な面積が確保できることを考慮し、駅東を中心に適地を選定してまいります。救急隊の分離については、公共交通機関や主要道路からのアクセスなどを考慮し、総合的に検討してまいります。</p> <p>広面出張所については、城東消防署本署の位置を考慮し、効果的な場所を選定してまいります。</p> <p>救急車については、整備指針に基づいた救急車数の中で、公共交通機関や主要道路からのアクセスなどを考慮し総合的に検討してまいります。</p> <p>予防については、今年度各消防署に査察車を配備し、機動力の向上を図っております。今後も引き続き予防業務の強化に努めてまいります。</p>
<p>4</p>	<p>【牛島出張所について】 秋田市南東地区の要として現在地が適地と考える。</p> <p>【勝平出張所について】 勝平地区の地勢として「島」であり、地域の防災拠点としての目的は開所当時と変わりなく、また新屋分署との補完関係等を考慮すると、統合でなく存置させるべきである。</p> <p>【御所野出張所の開設について】 この地区は、大型商業施設に加え様々な業種も進出してきた。また、街開きがされてから30年が経ち、第一世代は高齢化し、ますます救急需要が増えることが想定される。秋田市内の人口集中地区において最も第一着隊が遅いのではないかと思われるため、署所の開設を検討すべきである。</p>	<p>牛島出張所および勝平出張所については、将来構想の枠組みではあるものの、庁舎の長寿命化対策を講じていることなどから、将来的な庁舎更新計画および署所の再編等については、更新時の人口動態、社会情勢の変化を考慮したうえで、署所機能維持・強化を見据え、効果的かつ効率的な消防体制の確立を目指し検討してまいります。</p> <p>御所野出張所の開設については、将来的な社会情勢と合わせ、高齢化に伴う救急件数の増加等、総合的な消防需要の変化を見極めてまいります。</p>